

三菱重工機械システム
入社2年目の高浜といいます

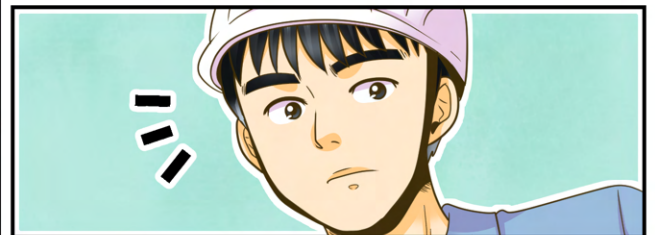
設備インフラ事業本部
建設部建設一課一チームに
所属しています

設備インフラ事業本部
建設部 建設一課 一チーム
たかはまやすお
高浜康生

主人公はフィクションです

持ち場の安全確認を
徹底してください

11時半から
職長会議が
ありますので



ドームやスタジアムなどの
スポーツ施設の屋根を
開閉する可動屋根台車
といった製品を扱っています

高速の風を送り出す
風洞設備や

完成した製品を直接
お客様の元に行って
据え付けや試運転を
行なっています

主な業務一覧

施工作業確認

作業工程確認

報告資料作成

試運転作業

私の主な業務を
みていただきたい
と思います

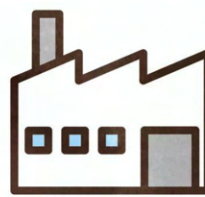


建設一課の仕事範囲

お客様へ
納品

製品が仕様通りの
性能を発揮できるよう
据え付ける

試運転



工場で製造
した製品

まず建設一課は
このような流れで
仕事をしています

作業工程・施工作業確認

以上が本日の
作業内容に
なります

現場施工管理の現地作業は
実際に作業を行う
ビジネスパートナーの方と
作業の内容や工程を確認
してからスタートします

よろしく
お願いします

そして作業全体が滞りなく進むように
人とモノのスケジュールと予算の
管理・確認を行うことが
全体を通しての業務になります



そして現場に入って
作業に問題ないかを
確認します

機器を
調整したので
確認して
もらえますか？

規定値から
はずれていますね

わかりました
再調整します

なかなか
設計図通りに
いきませんか

所長に確認して
設計者と
話してみます

よろしく
お願いします

実際に作業をしてみると
調整が上手くいかなかったり
設計図通りにいかない
こともあるので

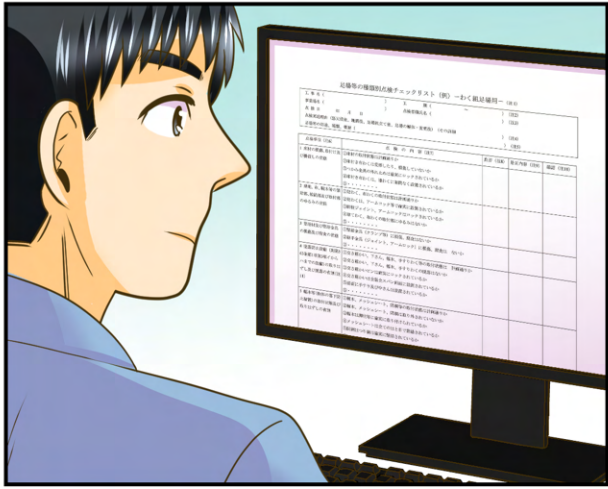
この工程で
大丈夫
でしょうか？

作業は直列に進んでいくので
1つの工程に時間がかかったり
不具合があったりすると
作業全体が遅れてしまいます

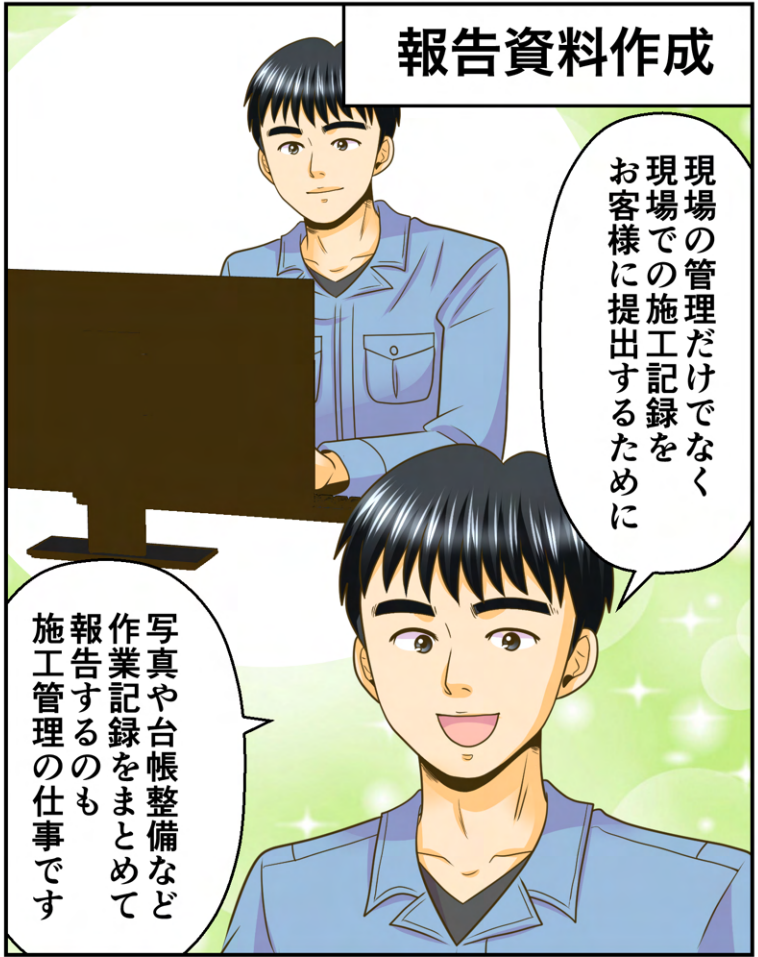
大丈夫です

原因を考えて
対策を検討したり
柔軟に対応する
必要があります

常に作業状況を
確認してコントロール
することが大事です



報告資料作成

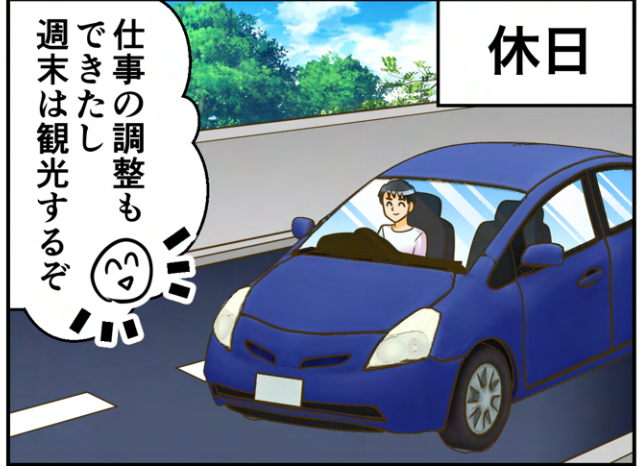


現場の管理だけでなく
現場での施工記録を
お客様に提出するために

写真や台帳整備など
作業記録をまとめて
報告するのも
施工管理の仕事です

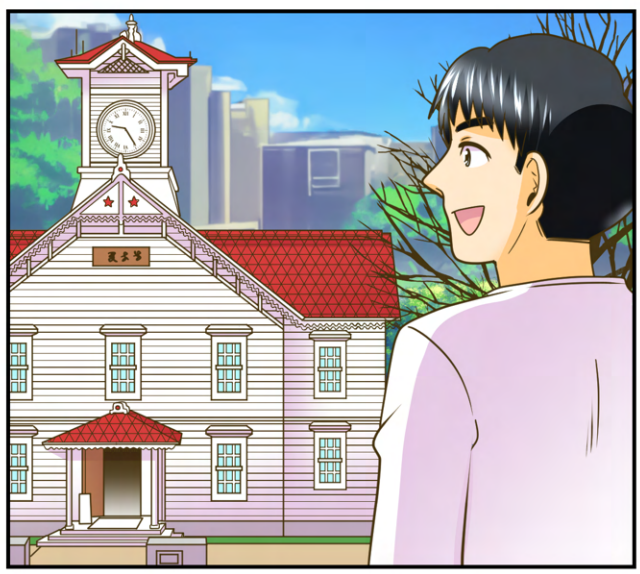


この仕事は
出張も多いので
こうして色々
観光もします
出張期間中は
出張手当が
支給されるところも
この会社の
良いところです

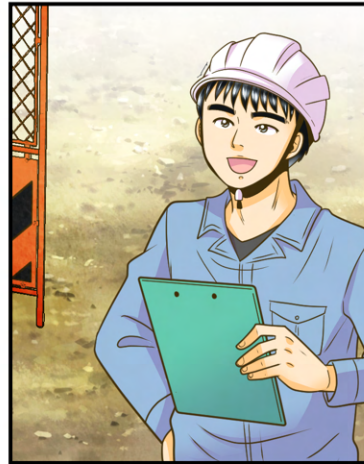


休日

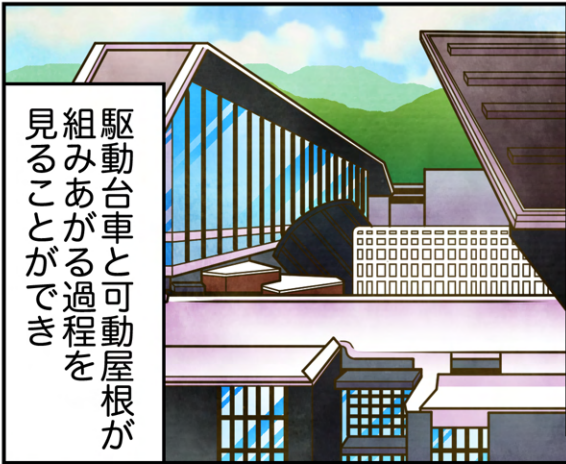
仕事の調整も
できたし
週末は観光するぞ



数ヶ月・数年単位に及ぶ
巨大なプロジェクト(製品)
になるとすごく責任の
ある仕事を任されて
いると感じています



特にボールパークの
可動屋根を担当した時は
建屋の屋上から



駆動台車と可動屋根が
組みあがる過程を
見ることができ

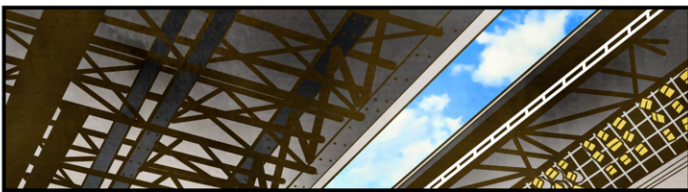
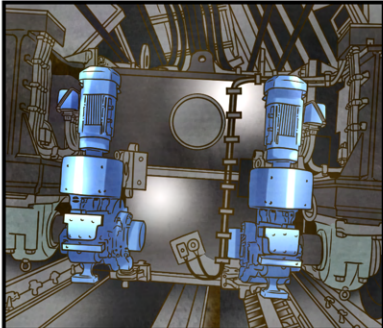
いいか…ボルトの
ひとつでも
付け忘れたら
この屋根は
崩れ落ちる
かもしれない…



それくらい
の
気持ちを持って
入念にチェックを
行なうんだ



はい



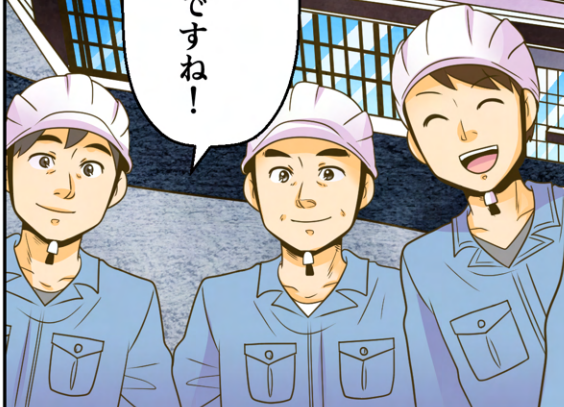
自分が据え付けた…
なんてとても
言えないけど

このボールパークのように
誰かの思い出になる場所を
作ることが嬉しいです



完成したぞ!!

次は
試運転ですね!

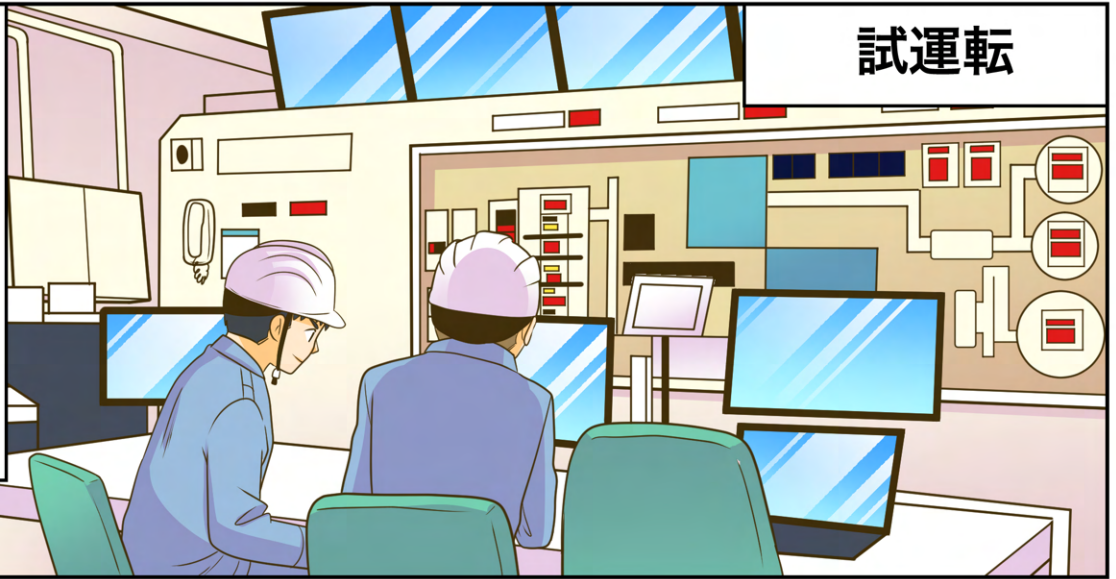


自分の仕事
が
形として残ることが
この仕事の魅力なんです



試運転

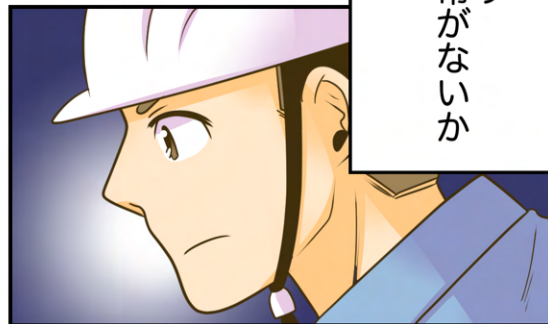
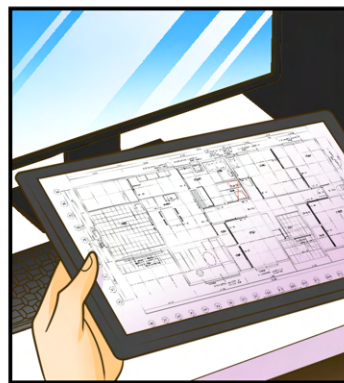
装置が組み上がった後に行う試運転では設計部門の人と現地に出て機器が正常に動いているか確認を行います



どうですか
正常に動いて
ますか？



お客様に製品を引き渡す
前段階なのでミスや異常がないか
入念にチェックします



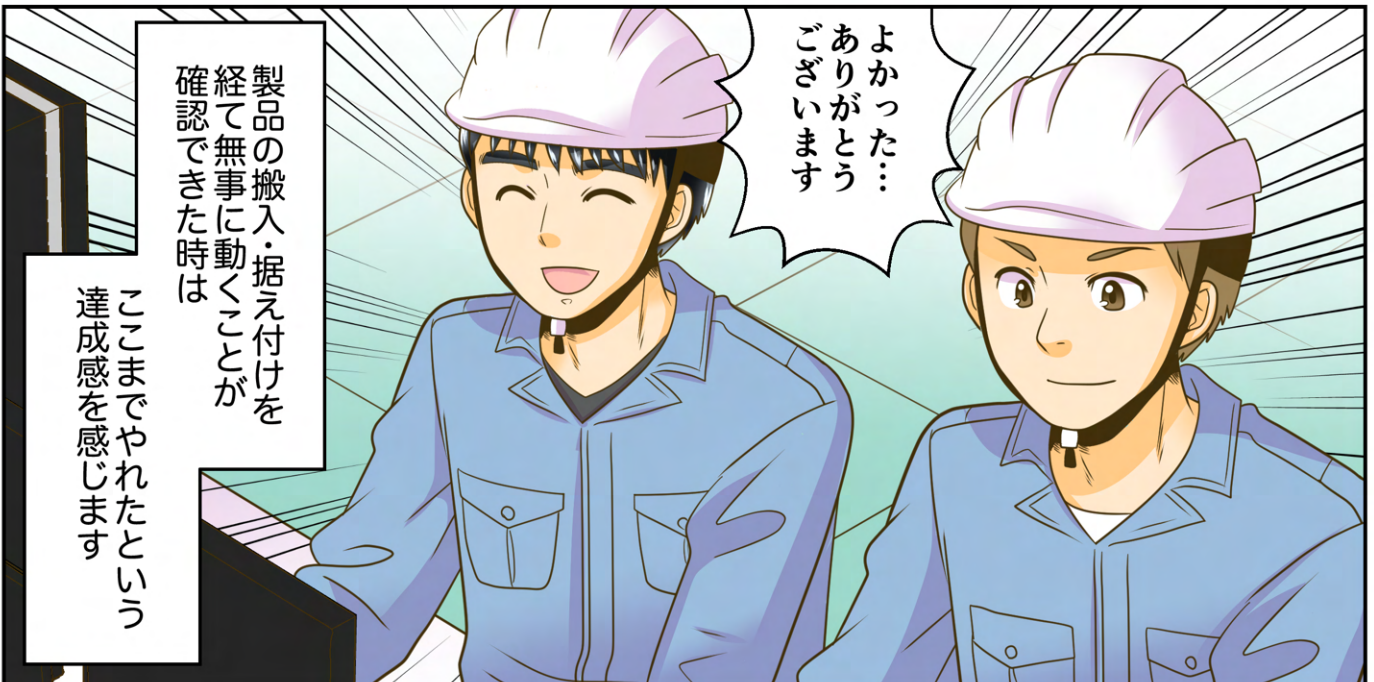
大丈夫です！



よかった…
ありがとうございます
ございます

製品の搬入・据え付けを
経て無事に動くことが
確認できた時は

ここまでやれたという
達成感を感じます



誇れる仕事について

ビジネスパートナーとのやり取りでもそうですが、道筋を立てて話すとか、報告するというのは、すごく鍛えられています。

受け手のことを考えて発信する意識を持つことが大切です。

そして今の自分に足りていないと、思っていること…

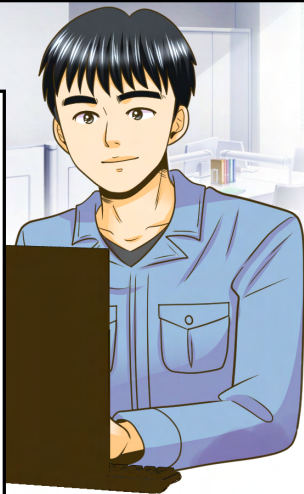
それは目先だけの仕事じゃなくて、次の仕事を見ることが大切です。

監督の仕事をさせて、いただいているので、自分が工具を持って作業するわけではなく、

職人さんやビジネスパートナーさんにやっていただく

その代わり自分たちは、そのボルトはどうやって締めるのか、どれぐらいの強さで締めるとか…というのを、前もって検討しています。

監督という仕事にとって、一番大事なのは、職人さん達がすぐに作業ができる環境を作ることなんです。





自分にとって三菱重工
機械システムの仕事とは

製品の枠を超えた
建設のプロフェッショナルに
なるということです



そしてそれが満足に出来る
建設のプロフェッショナルになる

それが
これからの目標です



よし
これからもお客様に
喜んでいただける
製品を

ついでに
つくるぞい



高浜さん
休憩終わ
りましたよ

はいっ

午後も安全第一で
頑張りましょう